

# 広島市植物公園 見どころ案内

ミツマタ

(ジンチョウゲ科)  
枝が必ず三つに分かれる(三叉)ことから名付けられました。小さな黄色い花を下向きに咲かせています。樹皮は和紙やお札の原材料になります。

2021年2月26日  
通巻第492号

春の特別ラン展開催中 28日まで  
約7000点10万輪の洋ランの競演♪  
(温室には密を避けて観覧してください)

## 展示会のご案内

- ◇大温室ロビー (2/20~2/28)  
フラワーデザイン展
- ◇展示資料館1階 (2/20~2/28)  
蘭のアート展示
- ◇屋外展示場 (2/20~2/28)  
クリスマスローズ展

## ウメ 藤牡丹枝垂れ (バラ科)

当園の職員は登竜梅と名付けています。淡紅色の八重咲きの花が咲き始めています。

## カランコエ各種 (ベンケイソウ科)

乾燥に強い多肉植物の一種。小さく可憐な色とりどりの花を咲かせています。

## アロエ 青鱈

(アロエ科)  
開室(昭和53年10月)以来、この場所で生育しており、天井近くまで大きくなりました。別名は猛棘蘆薈(もうしろかい)。

## フクジュソウ(福寿草)

(キンポウゲ科)  
「春の妖精」が見頃です。フクジュソウ1種に分類していたものを最近では地域毎に4種類に分けることが一般的です。有毒で新芽がフキノトウに似ているため、中毒事故が度々起こっています。

## ベニバナトケイソウ

(トケイソウ科)  
中南米原産の植物で時計のような形をした赤い花を咲かせます。仲間には熱帯果樹のパッションフルーツがあります。

## ハナモモ 雛遊び (バラ科)

広島市内で発見された早咲きのハナモモ園芸品種。

## ツバキ各種 (ツバキ科)

肥後椿(江戸時代に熊本で作られた一重で大ぶりの椿)やユキツバキ(日本海側に自生する雪に強い椿)のなかまが見ごろです。

## シナマンサク (マンサク科)

中国原産で、1~3月に黄金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。橙色の園芸品種も咲いています。

## サンシュユ (ミズキ科)

中国原産の植物で、早春に枝の先に小さな黄色い花をたくさん咲かせることから、別名ハルコガネバナ(春黄金花)とも呼ばれます。

## カワヅザクラ (バラ科)

河津(かわづ)は静岡県の名産です。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種と考えられています。紫紅色の花を咲かせています。

## ウメ 巻立山 (バラ科)

紅白の梅が一株から咲いているように見えますが、巻立山(まきたちやま)は白梅です。富山の立山が由来ですが、古い言葉でたちやま(多知夜麻)と読みます。紅は別種ですが、遠目にきれいに見えるので、紅白で残っています。

